デイリーレポート

船長署名ファのいの

船名	大島丸		情報発信日時		2	025	年	11	月	10	日	12	時	00	分
現 在 位 置	航海中	12	時	00 分		概位		市江埼沖							
		<lat.< td=""><td>33</td><td>- 34</td><td>1.7 N</td><td>/ S</td><td colspan="2">Long.</td><td colspan="2">135 -</td><td colspan="2">18.6</td><td colspan="2">E/₩></td></lat.<>	33	- 34	1.7 N	/ S	Long.		135 -		18.6		E /₩ >		
	停泊中		時	分	†	既位									
		<lat.< td=""><td></td><td>-</td><td>Ν</td><td>l∕S</td><td colspan="2">S Long.</td><td colspan="3">-</td><td colspan="2"></td><td colspan="2">E / ₩ ></td></lat.<>		-	Ν	l ∕S	S Long.		-					E / ₩ >	
	錨泊中		時	分	†	既位									
		<lat.< td=""><td></td><td>-</td><td>Ν</td><td>l/S</td><td>Lo</td><td>ng.</td><td></td><td colspan="3">-</td><td colspan="3">E /</td></lat.<>		-	Ν	l /S	Lo	ng.		-			E /		
	操業中		時	分	<u></u>	既位									
		<lat.< td=""><td></td><td>-</td><td>Ν</td><td>l/S</td><td colspan="2">Long.</td><td colspan="3">-</td><td colspan="2"></td><td>E/</td><td>₩ ></td></lat.<>		-	Ν	l /S	Long.		-					E/	₩ >
	観測中		時	分		既位									
		<lat.< td=""><td></td><td>-</td><td>Ν</td><td>/ S</td><td>Lo</td><td>ng.</td><td></td><td></td><td>-</td><td></td><td></td><td>E/</td><td>₩ ></td></lat.<>		-	Ν	/ S	Lo	ng.			-			E/	₩ >
本船状況気象海象	針路:	318	度	船速:	5.0	k	t	天候	:	b	С				
	風向:	NW		風速:	17.5	m,	/s	視界	:	Ī	7	ž	፟		
	波高:	2.8	m	風浪階級	: 5		うね			級:	3				
乗船者 状況	乗組員	現在員:		19	名	健康	状態	:		良好			不良		
		摘要:													
	生徒	現在員:		12	名	健康	状態	:		良好			不良		
		摘要:													
	指導教官	現在員:		3	名	健康	状態	:		良好			不良		
		摘要:													
	アト゛ハ゛イサ゛ー スタッフ	現在員:		1	名	健康	状態	:		良好			不良		
		摘要:													

○本船動静

【学校側コメント】

昨日の出港時は小雨模様の天候も次第に曇りから時々晴れと変化、海上模様も予想よりは穏やかな海 況で航海して来ました。とはいえ、船酔いする実習生も何人かいました。

今朝の起床、体操時は和歌山県南端の潮岬沖を航行していましたが、ここから神戸港に向かうには紀伊 水道を北上します。冬季の気圧配置となる時、紀伊水道南部では大阪湾から吹き出す北風もしくは北西 風が強風となり紀伊水道(友が島水道)を北上する船舶を悩ますことになります。事実、大島丸も潮岬 をかわった途端に北西風の強風を受けての航行になりました。船酔いしている実習生は今しばらくの辛抱 です。友が島水道に近づくにつれて風波は収まり、船体動揺も収まって来る。船体動揺が収まれば船酔 いも治まって来る。今が頑張り時です。頑張ろう!実習生諸君!